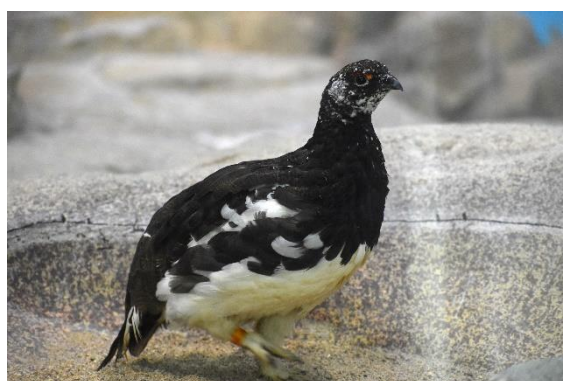


横浜市立金沢動物園 ニホンライチョウが死亡しました

金沢動物園で飼育していたニホンライチョウ（オス）が死亡しましたので、お知らせします。

1 死亡したニホンライチョウについて

- (1) 性 別 : オス
- (2) 年 齢 : 2歳
(令和4年7月6日
いしかわ動物園で孵化)
- (3) 死 亡 日 : 令和6年8月3日(土)
14時20分に死亡確認
- (4) 死 因 : 不明
- (5) 導入経緯 : 環境省と(公社)日本動物園水族館協会が共同で行うライチョウ生息域外保全実施計画に基づき導入



3 死亡当日の経過

令和6年8月3日10時頃に担当者が飼育室の清掃を行った際には異常は見られませんでした。が、14時頃に動物観察用カメラの映像を確認した際に動きが見られなかったことから、担当者が確認のために入室したところ死亡しているのを発見しました。

死亡当日に解剖を行いました。肉眼的所見では異常が見られず、死因の特定には至っていません。今後外部機関による臓器の組織学的病理診断や糞便からの細菌検査等を実施予定です。

金沢動物園



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

横浜市SDGs認証制度



お問合せ先

金沢動物園 園長 長倉 かすみ TEL045-783-9400

【参考資料】

1 ニホンライチョウについて

和 名	ニホンライチョウ
英 名	Japanese Rock Ptarmigan
学 名	<i>Lagopus muta japonica</i>
分 類	キジ目 キジ科
分 布	高山帯に隔離分布しており、現在の分布域は頸城山塊、北アルプス、乗鞍岳、御嶽山、南アルプス
生 態	本州中部の高山帯に生息するライチョウの亜種です。ライチョウの亜種の中では最も南に分布しており、氷河期に日本まで分布を広げたライチョウの祖先が、その後の温暖化とともに気温の低い高山に生息の場を移して、現在まで生き残ってきたものと考えられている。 日本の高山の環境によく適応し、高山植物の芽や葉、種子などを食べ、ハイマツの下に巣を作って繁殖する。 国の特別天然記念物及び国内希少野生動植物種に指定されている。
環境省レッドリスト	絶滅危惧ⅠB類（EN） 絶滅危惧ⅠA類（CR）ほどではないが、近い将来における野生での絶滅が極めて高い種
当園飼育数	当園のニホンライチョウはいなくなりました。 ※令和6年8月3日現在
国内飼育園館	7園館 富山市ファミリーパーク、恩賜上野動物園、大町山岳博物館、那須どうぶつ王国、いしかわ動物園、長野市茶臼山動物園、横浜市繁殖センター（動物は非展示）

2 ライチョウ生息域外保全実施計画について

環境省と（公社）日本動物園水族館協会が協力してライチョウ生息域外保全実施計画を実施してきました。令和3年には第2期ライチョウ生息域外保全実施計画が策定され、令和4年に国内の動物園生まれの個体を生息地へ放鳥することに成功、令和5年には動物園からの野生復帰個体での繁殖が確認されました。現在国内の8園館において、飼育・繁殖の知見の集積や野生復帰事業への協力が行われています。

金沢動物園では、平成27年からニホンライチョウに近縁のスパールバルライチョウの飼育を開始し、令和6年2月22日にニホンライチョウが来園しました。

3 金沢動物園について

◆入 園 料：一般 500 円、高校生・中人 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
（毎週土曜日高校生以下無料）

※よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円

◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）

◆休 園 日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、12/29～1/1

◆交 通：京急線「金沢文庫」駅下車、西口バス乗場でバスに乗車

①「野村住宅センター」行きバス「夏山坂上」下車徒歩 6 分

②急行「金沢動物園」行きバスで 10 分（土・日・祝のみ）

◆U R L：https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/kanazawa/

◆住 所：横浜市金沢区釜利谷東 5-15-1

◆問合せ先：045-783-9100